

す

く

す

く

87号



東京都済生会中央病院附属乳児院 2024年度 第2号 2024. 7. 1 発行
東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 岡尾 良一

暑さが本格的になり夏の訪れを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしですか。子どもたちは毎日のようにプール遊びに興じ、院庭からは元気な声が響いてきます。また、夏の戸外活動では、恒例のお祭りやすいか割り、バス遠足に加え、今年は磯遊びやバーベキューなどを盛り込みました。より充実した生活体験の機会となるよう計画をすすめています。

さて、当院では今年度 13 名の新入職員を迎え、初めて 70 名を超えるチームとなりました。新入職員向けの研修は、ここ数年で試行錯誤を重ね、1 カ月間は集合研修中心のゆとりあるプログラムになっています。子どもの権利擁護をテーマにしたひとコマでは、ロールプレイを取り入れ、居室の職員が好ましい支援の場面と、そうではない対応とを見事に演じ分けます。養育者役と児童役の演者自身が体感したことと、観客となった職員たちの感じ取ったものを言語化して共有することで、とても良い研修効果をもたらされているように思います。今後も多くの学びの機会をもちながら、乳児院の様々な活動に職員皆で取り組んでいきたいと考えています。

日頃より当院の活動にご理解とご支援を頂いている皆様には改めて感謝申し上げます。今後とも子どもたちへのご支援をよろしくお願いいたします。

副院長 石田 晃代



理 念

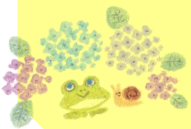
「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。
〔「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉を差し伸べることです〕

基 本 方 針

「子どもニーズ 子どもファースト」

私たちは、常に子どものことを第一に考え、子どもの目線に立ち、子どもの気持ちの代弁者として実践し、一人ひとりの子どもの最善の利益を追求していきます。

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てていきます。
3. 感動や成功体験を通し、子どもの自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。



こいのぼり会

5月10日のこいのぼり会では、おしゃれをして初節句のお祝いをしました。乳児は、パラバルーンと「フランスパン」のふれあい遊びを行いました。パラバルーンの動きをじっと目で追いかけて手を伸ばしている子や、ふれあい遊びでは、手足をパタパタと動かし嬉しそうに笑っている子、それぞれ違った反応を見せてくれました。幼児の「ブルブルブルドッグ」の体操では、最初は少し緊張していましたが、元気いっぱいダンスを披露している子、音楽に合わせてパチパチと手を叩いている子、みんな笑顔で楽しい時間を過ごしました。最後は五月人形の前で写真を撮り、こいのぼりゼリーを食べました。乳児・幼児共に穏やかな雰囲気で大人も子どもも笑顔溢れる素敵な一日になりました。

保育士 吉岡 望海



春のえんそく

春の柔らかな日差しの中、バスに乗ってよこはま動物園ズーラシアへ遠足に行きました。バスの中では、嬉しそうにお友達や職員とお話を楽しみながら動物園に到着。動物園では、職員と手を繋ぎ、動物が近づいてくると目を大きくしてまじまじと見つめたり、「そうさん！」と声を掛けたりと、それぞれのペースで散策を楽しみました。帰りには、お店中を所狭しに何往復もしながらお土産を選び、自ら店員さんへ手渡して購入をしました。帰ってからも、「バス、のった」「どうぶついた」と朗らかな表情で嬉しそうに話をする姿がとても印象的でした。

副主任保育士 前田 朋子



苗植え

5月の終わり、近隣のお店に野菜の種と苗を買いに行き、5階院庭でナス・キュウリ・トマト・オクラの種まきや苗植えを行いました。子どもたちは上手にオクラの種を1粒ずつ蒔いたり、トマト・ナス・キュウリの苗をプランターに植えたりしました。最後には「おおきなあれ」と願いを込めながらソウさんジョウロで水をあげました。『おおきなかぶ』の絵本が好きな子は、職員が「かぶみたいにおおきくなるかな？」と話すと、頷きながら収穫を楽しみにしている表情を見せてくれました。子どもたちはみんなで水やりをしながら、これからぐんぐん成長していく植物を観察し、収穫した野菜を食べることを楽しみにしています。

副主任保育士 照井 美紀



各居室のエピソード

～春～ をお届けします



たんぽぽ

最近のブームはごっこ遊び。お店屋さんやお医者さん、時には保育士にもなりきって子ども同士でやりとりをしながら楽しんでいます。大きい子が、「どれにしますか？」「おかわりどうぞー」と食べ物を渡す真似をすると、小さいお子さんは、大きな口を開けて食べる真似をします。“店員さんとお客さん”の役割もしっかりと決まっているようです。

保育士 小林 由貴



ひまわり

Aくんは遊んでいるおもちゃを「今使ってるよ」とお友だちに教えてくれます。同時に代わりのおもちゃを「どうぞ」と渡す優しい姿も見せてくれています。小さい子はハイハイで追いかけてっこをしたり、顔を合わせて笑ったりとお友だちと遊ぶ楽しさを感じています。そんな子どもたちのやりとりに微笑ましくなりました。

保育士 新井 咲菜



こすもす

最近1歳になったお友達が3人もいます。1人がつかまり立ちを始めると2人もつかまり立ちをし始め、それぞれがお互いを見て成長している姿を感じ、とてもあたたかい気持ちになります。最近は欲しいものがあると手をたたいて「ちょうだい」を表現しています。これからの成長がとても楽しみです。

保育士 須藤 多笑



さくら・ちゅーりっぷ

乳児院の1Fと5F屋上には、芝生の生えている庭園があり、乳児さんはよくそこで外気浴をして遊びます。レジャーシートを敷きピクニック気分で、職員が飛ばすシャボン玉を見たり、上空を飛ぶヘリコプターを見つけたり、春には桜を見たりして、心地よい春の風を感じながら、戸外ならではの体験を楽しんでいます。

看護師 佐藤 沙紀



私らしさと笑顔を大切に、子どもたちと楽しい
毎日を過ごしていきたいです。

子どもたちと過ごす時間を
大事に頑張ります。

子どもたちにとって安心できる
所でいられるよう、精一杯頑張
りたいです。よろしくお願いします。

新しいことがいっぱい、分からな
いことがまだまだあると思いま
すが、自分の出来ることから、ど
んどん頑張っていきたいです。

子どもたちとたくさん関わり、
毎日笑顔で頑張ります。

今日も元気いっぱい頑張ります。

子どもたちと保護者の方々をつなぐ
役割です。寄り添いながら一緒に進ん
でいける職員となれるよう頑張ります。

社会福祉士

新入職員紹介

子どもたちに美味しいご飯を作れるよ
うに頑張ります。よろしくお願いします。

子どもたち一人ひとりの、安心・安全な生活を
支えられるよう、初心を
忘れずに日々頑張
ります。

食事を通して子どもたちの
日々の成長を支えて行ける
ように、精一杯取り組んで
いきたいです。

今ある知識を基に
日々成長できるように
頑張ります。

栄養管理室

ショートステイ事業

今年の4月から大田区のショートステイが開始されました。地域子育て支援事業として、港区、品川区に続いて3区目となります。育児や離乳食などの相談を始め、急なご家族の入院や介護など利用期間に困った際の相談にも対応しています。開始から4年目を迎え、お子様の成長を共に見守る嬉しさを職員も実感しております。これからも地域の皆さまと共に、子育て支援活動を推進していきたいと思っております。

地域支援プロジェクト 副主任看護師 石井 悠子

地域交流会を行いました

6月11日に港区民生委員・児童委員協議会との地域支援交流会を行いました。地域子育て支援や里親委託支援について説明を行い、その後、乳児院内の見学もしていただきました。



【0～3歳児の育児にお困りの方へ】

当院では育児相談を平日9～16時に受け付けています。 担当 看護師長 小泉

【寄付金について】

当院では子どもたちの養育環境整備のため寄付金を募っています。 担当 事務 竹田

上記について詳しくは右記までご連絡ください。 Tel 03-3451-8289 (直通)

「すくすく 第87号」2024.7.1 発行

〈発行人〉 岡尾 良一 〈編集委員〉 小泉 菜穂子 峯越 雅子 竹田 修 佐藤 沙紀 大野 華 須藤 多笑